

平成26年度 地域別市民意見交換会 意見概要報告書

NO	参加者からのご意見
清見地区・・・平成26年11月4日開催	
1	本年8月17日の豪雨災害で、清見小学校裏から育苗センター付近にかけて、川上川の堤防が崩れた。復旧工事はいつ頃から始まるか。
2	大原の馬瀬川も大きな災害に見舞われた。川底のしゅんせつも含めた復旧をお願いしたい。
3	ここ10年で災害が1回発生している。8月17日当日は、朝から昼に警戒していたが、果たして住民に災害情報等がしっかり伝わったか。雨量計も小鳥地域に一か所あるだけで、他の地域の雨量情報等はわからない。細かく情報を入手し、町内役員に早く情報を流して欲しい。今後も豪雨が発生しやすいので、災害時の情報提供を考えていただきたい。
4	せせらぎ街道の安全対策について、早く対処していれば死亡事故は防げたのでは。信号機の設置はどうなのか。
5	協働のまちづくりの先進地の良い所があれば、教えて欲しい。
6	高山市への大学誘致についてはどうなっているのか。
7	自然エネルギーのNPOを立ち上げている。間伐材の利用、地域通貨の普及を計画中である。ご指導、バックアップを。
8	農林予算は、23億円2.5%。もう少し伸ばして欲しい。
9	清見地域の地籍調査の促進を。
10	若い人たちの定住促進を。空き家対策等、行政が一元管理しながら若者の定住促進をお願いしたい。新規就農施設の利用も3年間という制約があり、定住に結びつかないため緩和してほしい。企業誘致も促進しながら、人口を増やす施策を。
11	高齢化の問題。自分自身の健康管理を徹底してもらいたい。意識改革が必要。
12	林業を何とかして欲しい（森林組合を活用しながら）。
13	全国14市町村でエネルギー開発に取り組んでいる。高山市はどうか。議員はどう考えているのか。
14	高山市は、50年、100年先の目標を決めているのか。観光なのか、産業なのか、人口増を目指すのか。
朝日地区・・・平成26年11月4日開催	
1	小中学校の生徒・児童は自宅からの距離により、スクールバスで通学している。また、学校の近くに住む子どもたちも、朝など保護者に送迎してもらう生徒・児童が多くなっている。子どもたちの体力増進や、学業への取り組み意欲向上のためには、朝から体を動かす取り組みを行なう必要があるのではないかと。
2	国は35人学級を進めているがどう考えているか。
3	朝日町には戦没者の慰霊碑があり、合併前は年1回の慰霊祭を朝日村独自で実施してきた。しかし、合併後は開催できなくなった。現在は地元地域の主催で慰霊祭を行なっているが、遺族が高齢になり開催できないため、市が主催して開催してもらいたい。是非、戦後70年に向けて取り組んでもらいたい。
4	協働のまちづくりは、地域が主体的にまちづくりを担う仕組みになっているが、財源も少なくなってくる上に、担い手もない状況になっている。行政が地域に押し付けて丸投げに思える。市側から「こういうまちづくりを行なってもらいたい」と示すのが本筋だと思う。現状では市が示す協働のまちづくりの考えが漠然としており、市長と担当部局でも考え方がまとまっていない。議会はどう捉えているのか。

NO	参加者からのご意見
5	<p>協働のまちづくりは、全国的に進められているが、社教や町内会の解散なども囁かれる中では、地域・団体・住民との連携はとれないと考える。連合町内会の組織がなくなれば、市に対して要望することもできなくなる。地域が壊れるような気がしてならない。</p> <p>社教主事の給料は、現行では市の直接雇用であったが、今後はまちづくり協議会が直接雇用することが言われている。今後、地域の財源が減少する中で人件費充当分が増加しては、防災から福祉まで幅広く実現できるわけがない。</p> <p>今後は、市民の不満が募る可能性があるため、地域が活性化するために追加予算への対応をお願いしたい。</p>
6	<p>朝日地区もまちづくり協議会発足総会の準備を進めている。しかし、予算的な問題から地域の活動が出来る財源がない。住民から会費を募って運営することも視野においているが、人口が少ないため会費徴収額も少なく、行事運営ができなくなることを危惧している。</p>
7	<p>8月の豪雨で発生した土砂災害において、民有地の土砂を排除できないのは納得がいかない。岐阜県は状況を見ながら対応と言っているのに、高山市の対応は四角四面で冷淡な対応である。</p> <p>また、災害で発生した土砂を処理場に持ち込んだ時も、大型ダンプでは重量計に乗らないために、持ち込みを断られた。仕方なく中型ダンプで対応した経過がある。これでは時間やコスト的な問題を捉えても極めて非効率であり、災害時の対応としては、迅速かつ適切、柔軟に対応することが重要である。</p>
8	<p>中山間地域が危惧することは、高根・朝日の過疎の進行である。特に農業面から見た場合、耕作放棄地に歯止めが掛からないような状況になっており大変危惧している。鳥獣害対策は成果が上がっているが、中山間地は儲からない農業に追い込まれており、気力ある後継者がいない状況である。</p> <p>その中でT P Pの行方を大変心配している。中でも牛と米の対応を危惧している。国は、重要5品目は関税を堅持するような考え方を示しているが、不透明である。市議会として、国に対して意見書の提出をお願いしたい。</p>
9	<p>協働のまちづくりがモデル地域として進められているが、どのように取り組んでいるのか。</p>
10	<p>小中一貫教育を研究されているが、第八次総合計画にも少し盛り込んであり、議会としては、小中一貫教育への具体的な考え方はあるのか。</p>
11	<p>議会の皆さんにも、高山市内全体の学校を見て欲しい。地域の学校が、それぞれ工夫を凝らし郷土教育や独自の教育をめざし学校教育目標を掲げて運営している。地域の実情を踏まえた学校教育が重要であることから、地域の学校や、子どもたちの学校生活を知る中で、小中一貫教育を進めていただきたい。</p>
12	<p>地域の中で子どもとの接し方の重要性を住民にお願いしている。子どもにとっては大人との触れ合いが大切だと思っている。そこで、秋神地区の県道の防犯灯が、県の財源不足問題もあり消灯したままの状態になっており、暗い状況になっている。対応をお願いしたい。</p>
13	<p>桑ノ島地区の空き家について、防犯上も危険である。子どもの通学や防犯のために防犯カメラなどを設置して、侵入者のチェックをお願いしたい。</p>
14	<p>学童保育について6年生までの引き上げが議会でも言われているが、学童保育の施設や指導員の人数を整えてから対応をお願いしたい。地域によって実情は違うと思うので、支所地域と高山地域を区別して対応する必要があると考えている。</p>
15	<p>在宅介護を進めることについて、地域内で介護従事者を集めることは現実的に不可能であることから、今後は老老介護になってくる。過疎地域は、人口減少などにより地域の維持ができなくなる上に、介護や福祉分野まで地域での対応は困難である。旧市内などは状況が異なるので、一律な対応は避けてもらいたい。</p>
16	<p>協働のまちづくりの支援金については、繰越金を不用額として捉えて市に返納することがないように対応してもらいたい。また、協働のまちづくりにあたっては、担当職員の配置が示されているが、専門的な知識や手腕を持つ職員を配置してもらいたい。</p>
上宝地区・・・平成26年11月5日開催	
1	<p>意見書「軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書」の中身は。</p>
2	<p>クマやサルなどの獣害対策については、短期的対策とともに個体管理や山を守る活動など、中長期的な視点での対策が必要ではないか。猟期を定めず通年捕獲できる制度や捕獲鳥獣の処理まで対策が必要だ。猟友会の人材育成や射撃場の整備も必要では。</p>
3	<p>合併時、「本庁まで30分」という話があった。十三墓峠の改良は進んでいるが早くしないと過疎化が進んでしまう。</p>

NO	参加者からのご意見
4	光通信の整備について、各戸に7万円の負担が求められるのはどうか。NHKの共聴組合員についても5万円の負担となっている。
5	市民協働について、社教主事が廃止され社会教育の取り組みについて温度差を感じており、あり方の検討が必要ではないか。
6	AEDを官庁関係の施設でない所にも設置する必要があるのではないか。
7	火葬場の問題はどうなっているのか。
8	十三墓峠頂上付近3kmほどの区間は、携帯電話が不通で不安。毎年、通信会社に要望はしているが、行政の後押しをお願いしたい。
9	御嶽山のこともあり、焼岳の噴火が心配される。さらなる防災体制の強化をお願いしたい。
10	十三墓峠の除雪が遅く、通勤・通学時間に間に合わない。改善をお願いしたい。
一之宮地区・・・平成26年11月5日開催	
1	協働のまちづくりについて、一之宮地区では4月25日設立総会を行った。他の地域の取り組みはどうなっているのか。また、議会はどのような対応をしているのか。
2	町内会加入率を上げることは必要であるが、具体的な取り組みはしていない。独居家庭や高齢者家庭など町内会活動をしたくてもできない家庭が増えている。
3	協働のまちづくりについて、旧町村と旧高山市域とは活動が違う。活動を考えて支援金も考えていただきたい。
4	協働のまちづくりに関して議員が受け身でいるようだ。議員の活動に距離感を感じる。名張市の例をもう少し掘り下げてほしい。
5	今後の支所機能のあり方をどのように考えているのか。
6	交流館は非常に良い施設であるので、多目的に、また、有効的に活用してほしい。
7	災害時には防災ラジオが有効であった。防災ラジオを普及させるためには、買い取り方式にした方がよいのではないかと提起したが、検討されているのか。
荘川地区・・・平成26年11月6日開催	
1	災害時、TV線が落雷により不通、防災ラジオが3日間使用できなかった（防災無線は、雨によりほとんど聞こえない状況）。旧高山市は普及率が低く、また、TV線に繋げないと聞けないなど、防災ラジオの機能等に問題があるのではないか。また、リースより買い取りの方が安価である。
2	CATVについて、12月までに切り替えが順次完了し、引き込み工事費等が発生した（約6万円）。旧高山市は無料でCATVが導入でき、CATV初期導入費用に不公平感がある。高齢者が多く、大きな負担となるため、これらを解決してほしい。
3	黒谷地区周辺は単独で聞くことができるが、新湊地区から北の方はテレビに接続しないと聞くことができない。地区公民館へのCATV整備については、負担が大きい。アンテナを整備するなど、ラジオ単独で聞くことができる環境の整備をお願いしたい。
4	上下水道会計の経営について評価しているが、荘川地域の普及率は90%以上で、もともときれいな水である。必要以上のお金を使って浄化することは意味がない。安価な上下水道料をお願いしたい。
5	水源地域に対する支援について、水源を保全するため、水源を守る取り組みの説明会が開催された。所有者も含め、水源地域の住民が守るのではなく、守っている方への支援を含め行政が前面に関わるべきである。
6	国道156号の改良促進について、議会としてどのように要望しているのか。
7	市営住宅（町屋団地）の利用促進について、単身用住宅に入居者がいない状況であるため、入居条件を見直すなど、入居者を増やす対策を。
8	高山地域の大手が荘川でもガソリン等を配達し、公共施設は入札により安くガソリン等を購入している。小規模店舗を守るための対策が必要なのは。
9	医師休暇時に、患者の容態が悪化した場合の対応が心配であるため、代替医師が確保できるような医療体制の検討を。また、介護している家族への支援も検討いただきたい。

NO	参加者からのご意見
10	防災情報の周知手段として、有線か無線で行うのか良く検討いただきたい。
11	国道158号沿いの歩道（惣則地区）が災害により崩壊したが、通学路でもあり最優先に復旧して頂きたい。また、子ども達の安全確保のためにも工事着手までの期間短縮を。
高根地区・・・平成26年11月6日開催	
1	学校再配置と一貫教育についての調査研究の狙いは何か。
2	市の施設として牛舎があるが、市有財産の無償譲渡については、農家が譲渡を受けない場合、市は現況に戻して土地の返納を求めている。地域において、多額な取り壊し費用を少数の畜産農家で捻出できるわけもなく困難なことから対応を願いたい。
3	鳥獣害対策は、イノシシについては柵の効果が上がっている。しかし、今後、柵の更新や増設などについても新たな助成をお願いしたい。
4	御嶽が噴火してから、風評被害が拡大している。スキー場への来訪者の減少が心配である。市としても風評被害の軽減に向けて宣伝をお願いしたい。
5	市営住宅について、市としては空き家が多くなっているの、整理したい旨の考えがある。しかし、定住促進や、若者の雇用拡大に向け用途に応じて対応していく考え方も持っている。上ヶ洞に戸建て10戸（公営住宅7戸、村費建設3戸）、日和田に10戸あり、家賃は市全域で不公平がないように一律の額で示されている。 法律や条例に抵触しない中で、地域の実情に応じた家賃の設定をお願いしたい。高根地域で住宅を借りる方々と市内で住宅を借りる方々では、就業条件や年収条件の違いがあり、全市統一した家賃では、過疎地域の市営住宅に居住する方々は少なくなる。従って、同一条件ではなく、地域特性など含めて検討願いたい。高根の現状は、市営住宅35戸中3分の1くらいしか入居していない。入居要件や所得要件など、対象者についても検討をお願いしたい。
6	第八次総合計画を、議会も協力しながら市民意見を反映して策定して頂きたい。
7	熊は猟師がいないと撃つことができない状況である。その上、許可が出るまで時間を要している。迅速に対応が出来る仕組みを作ってもらいたい。
8	牛舎については、現在市に対し家賃を支払っている。合併前のことであるが、高根村が建設を計画した当時、土地は75名の共有地だと思っていたが、調査したら幽霊地であったので、村で国から購入して村の土地となり、その後、市有地となった。そんな状況にあるのに高い家賃を支払っているの、家賃の軽減など対応を願いたい。
9	御嶽山の噴火については、風評被害が発生しており、高トレなどへの被害を懸念しているので、東京オリンピックに向けて対応をお願いしたい。
10	市民の目線で議会だよりも発行されていると感じる。通常は官民と表現する語句なども、議会だよりもでは民官などと表現されており、マニフェスト大賞を受賞するくらいに、市民目線で編集してあり、嬉しく感じる。
11	公の施設については、観光施設など運営しているが、お客さんが減少して苦勞している。経営のプロの方を派遣して、今後のあり方や運営の中身について指導をお願いしたい。 また、収入確保についても専門家の指導をお願いしたい。
12	高根村観光開発施設公社は、経営環境が厳しくなっているが、高根地域としては、指定管理施設は貴重な雇用の場である。しかし、野麦の里など指定管理が受けられない状況が続くと、地域の疲弊が加速する。なんとか高根地域への雇用の場の確保など、地域の灯を消さないように対応をお願いしたい。
13	「のくとい館」は、地域にとって重要で必要な施設である。高齢化が進んでいる中では、どうしても必要である。今後、市の予算も縮小される傾向にあるが、削減することなどないよう対応をお願いしたい。
14	高齢化率50%以上で人口370名近くまで減少している中で、施設の老朽化も進行しており、現在は公の施設について指定管理で受託をしているが、運営が数年で行き詰まりを感じる。危機感を持っている。
15	御嶽トレーニング施設は、現状は元の小学校の理科室や音楽室などの施設を使っているの、まだ施設の内容の充実欠けている。対応を願いたい。また、今後、東京オリンピック開催にあたって、オリンピックムードが停滞し誘客の減少に不安を感じているので、議会としても宣伝など対応をお願いしたい。

NO	参加者からのご意見
16	「たかねコーン」をイメージしたゆるキャラ「高根こん太」を作り毎週出かけている。柳ヶ瀬まで招待され、JR80周年式典にも参加した。また、「ゆるキャラグランプリ」では、1699チーム中、810位であった。地域としては頑張っている事柄である。各地へ出掛けた際には、風評被害についても大丈夫であると宣伝してきている。
奥飛騨温泉郷地区・・・平成26年11月7日開催	
1	平湯地域を優先的に電柱地中化できないか。
2	環境省より、現存の電柱はいいが更新の際は原則地中化となっている。景観が大切な市内から穂高までの無電中化を。バスターミナル沿線に高速通信を。
3	御岳噴火があり、中尾地区で避難訓練をした。松本安曇野地区との意見交流をして欲しい。
4	ケーブルテレビの現況と進捗状況は。
5	誘客や松本市との交流のために安房トンネルを無料化できないか。冬だけでも無料化を。
6	東京から移住したが、町内会に参加できない。行政でフォローして欲しい。
7	町内会への募金や赤い羽根などについて、金額を指定してくるが、おかしいのでは。
久々野地区・・・平成26年11月7日開催	
1	これまで、協働のまちづくりは交付金として交付し、自由に地域の考えたことができるようにという説明であった。最近の説明では交付金が補助金に変わってきたことを疑問に思う。各地域が一律なまちづくりになることを心配する。また、補助金となると事務処理も複雑になり、事務局職員の負担も大きくなると本来のまちづくりに影響が出ることを心配する。
2	ごみ処理計画の検討が行われる中で、有料化になることを心配している。高山市のごみ行政についてはシール制や分別など評価している。ごみの有料化には反対だ。
3	生ごみの分別が必要ではないか。やれる人はやっているが、市が施設をつくることをしないと進まないのではないかと。また、姫路市の溶融方式は問題があり反対だ。徹底的に議論してほしい。
4	丹生川保育園は昨年移譲され、こくふ保育園は来年度移譲されると聞いている。久々野保育園はどうなるのか。
5	療育のことを心配している。久々野保育園の療育に感謝している。卒園後もあたたかく支援していただいている。療育と保育の連携は大切であり、療育は高山市が主体となって進めてほしい。
6	火葬場の反対署名がかなりの数で提出されたと聞いているが、議会からの発信がなく、議会の動きが見えない。どうなっているのか。
7	合併協議会において合意された内容の中で、積み残された課題等について、総合計画に関する特別委員会の中ではどういった議論がされているのか。
8	いこいの家を利用しているが、老朽化している。久々野支所の庁舎を耐震化で改修されるときに長寿会の希望も聞いていただきたい。
丹生川地区・・・平成26年11月10日開催	
1	協働のまちづくりの補助金の配分方法について、均等割、人口割、面積割と聞いているが、事業ヒアリング等を行い必要とする地域に配分する方法や他地区からの流用等はできないのか。
2	協働のまちづくりについて、支所地域では各種事業を展開してきた。1年目が重要であり、補助金が減額されるとできない事業が発生し、次年度以降復活することは困難である。
3	委員会では、視察等を行い情報を持っているはず。どのような提案、働きかけを行ったのか。
4	支所地域は、合併に伴い社教組織が作られ10年が経過し、ようやく慣れたと思ったところで新組織の立ち上げとなり、困惑している。
5	協働のまちづくりの新組織になにを期待するのか。
6	県道町方高山線について、40年来の拡幅要望が実施されていない。中部縦貫道整備に伴い拡幅されるが、県では用地購入できないことから復旧して返還するとの事。無駄であり何とかならないか。

NO	参加者からのご意見
7	こま草保育園が民間移譲となり心配したが、上手に運営していただいている。しかし、災害時等、丹生川在住の正職員がいないので心配。
8	いきいき教室を市直営で残してもらいたい。名古屋市でも療育に力を入れるなどしている。大切にしてほしい。
9	こま草保育園では個別対応、あゆみ学園では集団対応となっており、子どもに合った療育が選べる。現状を維持してほしい。
10	鳥獣被害について、現状は個人対応するしかない。个体数を減らす取り組みを（狩猟期間外の捕獲等）実施してほしい。また、被害が出る前の対策が打てないか。
11	地域の人口減少や空き家対策、少子高齢化など、今後10年の対策は。
12	高齢者については2025年問題が心配。医療・介護保険の制度破たんを防ぐため、国による受け入れ基準が厳しくなる。
13	施設整備は進むが、介護職が集まらなく開所できないと聞いている。
14	新火葬場の現状は。（車を利用するので、市内中心部でなくても良いのではないかと）
15	猟師を増やす対策が必要である。射撃場の整備などはどうなっているのか。
16	ロッセ牧場の環境改善をお願いしたい。環境数値と生活者の感覚には、ずれがある。
17	ケーブルテレビの現状は。
18	限界集落への取り組みは。高齢化の進んだ5世帯7人の集落では町内会を維持していけない。
19	高山市の景気は良いと思わない。北陸新幹線開業もあることから、問屋町を再整備し、築地のように観光客を呼べるような整備をしたらどうか。
江名子地区・・・平成26年11月10日開催	
1	高齢者が多くて、のらマイカーなど公共交通の利用者が多くなっているが、利用本数が少なくて困っている。
2	山王トンネルから松之本線の工事がストップしているが、第八次総合計画に入っているのか分からない。一日13,000台の通行量がある。出来る限り、早期に建設をお願いしたい。早く結果を見出して欲しい。
3	江名子～松之本線については、第八次総合計画の後期計画に盛り込まれるような話であったが、第八次総合計画では表現が弱くなっている。
4	国分寺通りや安川通りの信号交差点のタイミングが変わっているが、市民や周辺住民に認知されていない場合もあり、迂回する車両があり危険度が高くなっている。
5	江名子小学校区は、入学児童は安定した子ども数があるが、西小学校はクラス19人の実態がある。学区の編成については、検討しているのか。
6	協働のまちづくりについて進められているが、社会教育主事の制度はなくなってしまう。社会教育活動を地域がバラバラで取り組みを行ってしまうのではと危惧している。
7	社会教育が無くなってしまう可能性があるので、社会教育に関して活動の格差が出てくるのではないかと考える。
8	8月の災害に際して、指定避難所と一時避難所は、学校や公民館など区分している。学校が遠いので近くの公民館へ避難したが、年寄りや体の不自由な方々がいる場合は、一時避難所など公民館に避難する方が多くなってしまう。一時避難所と指定避難所の区分けは。
9	時間雨量20ミリを超えた場合と、土砂の移動があった場合は、警報機が鳴るようなシステムを設置してもらった。一度、警報機が鳴ったことがあったので、その時でも一時避難所に避難した。しかし、高齢者や障がい者などの避難について、指定避難所まで避難するには距離や時間などの関係から困難である。
10	錦町の公民館は、指定避難所にはなっていない。レッドゾーンになっているためであるが、早急に移転することを町内会として決議したが、公民館移設にあたっては、行政としても支援をお願いしたい。

NO	参加者からのご意見
11	指定避難場所は、近い場所に確保されるようお願いしたい。錦町から江名子小学校は遠いので対策をお願いしたい。
大八・岩滝地区・・・平成26年11月13日開催	
1	災害時において防災無線が「こだま」して聞きにくい。特に岩滝地域を何とかできないか。
2	スカイパークに建設する火葬場を白紙にして、他に移してほしい。江名子、越後谷など適地と思われるところがある。
3	火葬場について、2万人の署名の意味は。
4	ゴミの有料化をしないでほしい。
5	上野町は合併して1つの町となったが、東小と丹生川小の2校区に分かれている。人数のかたよりもあり、名ばかりの合併である。
6	消防団員の減少対策として、団員を雇用している企業に対し、市の発注事業を優先する等、優遇措置を拡大してほしい。
7	高山市の振興産業、特に建設事業が減っている。外資（市外）に本社のある業者に仕事を出しているが、地元業者優先対策をとれないか。
8	子育て新制度が来年度からスタートするが、保育園に対する補助金が減らされる。職員給料にもひびくので補助金を減らさないように。
9	障がい児を差別しないように。
10	働く場所がないため、若者が帰ってこない。U I J ターンを促進する対策を第八次総合計画に入れてほしい。
11	大手資本が入ってきて、地元小規模商店は苦しい経営であるが、何か支援策はないのか。
12	学校のペレットストーブの入札が行われ、市外メーカーの製品の納入が決まった。これでは税金が市外に出て行ってしまう。なんとか地元にお金がまわる仕組みはできないのか。
13	国保料の値上げが続いていて、負担が重くなっている。何か対策はないのか。
14	学童保育は3年生までだが、今後はどうなるのか。
15	市は自然エネルギー利用日本一を掲げているが、どうやって進めるのか。
新宮地区・・・平成26年11月17日開催	
1	防火水槽、一方通行の看板、避難箇所の看板などが古くなってきたので見やすくなるよう要望してきたが、ゴミ関係のもの以外進展がみられないのはどうしてか。また防災無線が聞こえにくい。
2	8月17日に大きな災害があった。市で出来るだけ早い対応をして欲しい。
3	防災訓練について、毎年の訓練で防災意識は高まってきているが、地震に対する訓練ばかりでなく、水害の訓練もして欲しい。
4	御岳の噴火について、風評被害への対策をして欲しい。
5	熊対策について、人家の付近に出ているため、広報だけでなく対策をして欲しい。
6	災害復旧で旅行村線を迂回路にできないか。
7	イノシシもどうにかならないか。
8	山を守るには200～300年先の事を考えて、山の持ち主が里山のどんぐりが多くなるような事も考えて提案していかなければならない。
9	熊の出没はどれくらいあったか。

NO	参加者からのご意見
10	支所地域では協働のまちづくりができていますが、市街地はまだである。新宮地区は1430万円もらえるようだが、まだ未確定である。原山公園の管理棟を地域で活用出来るように規制の緩和ができないか。また地区への委譲等は考えられないか。
11	協働のまちづくりが具体的になっていない。町内の負担も考えると早くしないといけない。
12	協働のまちづくりは社教主事がいなくなるので、ある程度予算化しないといけない。時間がない、どう予算だてするか、行政の地域への押し付けなのではないか。具体的ところがみえない。
13	水害の復旧は、崩れた所だけでなく根本的な事を考えて復旧して欲しい。
14	江名子では、江名子小学校の砂場の砂を入れ土嚢として対応した。河川監視カメラ映像の活用など、災害に対してリアルタイムにぜひ考えて欲しい。
15	議員定数は24人が妥当なのか。
16	新宮では自主防災会議で8か所を土嚢の設置場所に設定し、7か所に配置した。
17	火葬場について状況を教えて欲しい。
18	環境整備に関する町内要望は3か所くらいだといわれるが、10か所くらいにして欲しい。
19	復旧が10年前と同じ直し方というのはどうか。現状以上の改修をして欲しい。
20	聞いた意見はどうするのか。何もされないのか。
21	今日の結果を町内会長くらいには報告して欲しい。
国府地区・・・平成26年11月17日開催	
1	今年8月の豪雨時に宇津江3区の浸水については、水路整備と排水ポンプの設置により災害をゼロにすることが出来た。お礼を申し上げたい。日頃から地域において訓練を実施しているが、8月14日から降り出した雨であったため、消防ポンプを出して排水作業を実施した。消防ポンプの効果があって浸水を防ぐことが出来た。しかし、新たな問題が噴出しており、排水路の高さと宮川が増水した場合には逆流するなど、宇津江3区町内会としても今後問題点を整理するので、今後とも協力をお願いしたい。
2	第八次総合計画に対する議会の提言については、要点をまとめて冊子にして配布して頂きたい。
3	合併して10年が経過したが、地方自治が遠くなったと感じる。高根・朝日地域のかつての賑わいはなくなっているのが実態である。農業分野では、Uターン者への助成制度を作って若者が増加してきたことは事実である。今後は高山市全体のことであるが、一律ではなく地域特性に応じた対策が必要である。
4	市の職員が減少する中で財政状況の好転に繋がっているが、逆に嘱託職員が増加している。行政職員の減少は、地域に目が届かない市役所となり、机上の行政になる可能性がある。正職員と嘱託職員の均衡にも配慮する必要がある。
5	自然エネルギーを積極的に進めているが、買い取り価格制度のあり方が問われている。市内で太陽光発電が徐々に普及している中では、議会としても国に対して買い取り価格の引き下げを実施することのないように、意見書などを提出するべきである。
6	熊やイノシシの問題が大きな課題となっているが、森林保全対策を講ずるなど環境保全としての森林保護への対応が急務である。
7	民生委員をやっているが、災害時の高齢者への情報伝達手段は、防災ラジオを活用してもらいたい。しかし、台風が接近する中であっても、放送内容が普段と変わっていない。危機感を持ちながら台風へ備えている時には、適宜、適切な放送を行なう必要がある。台風が接近している中で、放送が親切ではないと感じる。情報伝達は、インターネットやメール配信など様々な手段があるが、高齢者はこれらの機能は使えないので、防災ラジオを利用して高齢者に対する備えを促すべきである。
8	高年介護の包括支援センターの問題は、社会福祉協議会に委託されるようなことが言われている。しかし、仕組みづくりまでは、自治体に責任であるので、住民が最低限必要とするものについては、行政が担うべきである。

NO	参加者からのご意見
9	介護保険料は11段階となっているが、第4段階と第6段階で不合理が生じている。第6段階の介護保険料は、夫がサラリーマンの妻の場合がほとんどである。しかし、現状は国民年金の受給額となり第4段階層の方と同様であるが、実態は16,000円の負担増になっている。さらに第6段階層では所得控除の対象になっていない。被保険者は市長である事業主に意見を言うしかなない。法律が示されているので仕方ないでは済まないと思う。法律が国民の生活を圧迫している実態があれば、議会としても改正に向け努力する必要がある。
10	高山市は合併したが、県土木においては国府、上宝地区が古川土木の管轄になっている。上宝地区と国府地区は、高山土木事務所になっていない。同一行政区で管轄する土木事務所が異なるのは問題があることから検討するべきである。
11	こくふ保育園が美鳩幼稚園に吸収され民営化されるが、民間は利益優先で進められている気がしてならない。公の施設であるので公立のまま進めて頂きたい。
12	支所の権限を強化するべきであり、権限の拡大をお願いしたい。500万円の予算執行権しか付与されていない。将来的には支所はなくなるのではないかと危惧している。
13	火葬場については、反対者も沢山あるようだが、私は賛成と感じているので進めて頂きたい。
14	議員定数の削減については、定数24名になっているが、今後の定数に対する考え方はあるのか。
15	総合計画については、個々の実施計画において、第七次総合計画に記載してあるものは、優先事項として第八次総合計画に記載して欲しい。
16	こくふ保育園が民間移譲となるが、療育の関係を心配している。現在30名近くが療育を受けている。行政としては、民間移譲を進めていくことを考えられているようだが、「すくすく教室」は直営で残して頂きたい。
17	保育園の北側は児童館として設置されている。市内の留守家庭児童教室は、高山地域では各学校の中にあるが、国府では児童館と留守家庭児童教室の併用で行なわれている。児童館と留守家庭児童教室は分離する必要があるのではないのか。
18	大雨の中で避難勧告が出されたが、市の民生委員や見守り推進委員は、何をすべきかの指導・教育を市として誰がしているのかわからない。命に関わることなので、民生委員にも避難時の対応の協力をお願いしたい。
19	民生委員としては、各家庭を廻るようなことについては指導を受けていない。現状では日常生活が安全に送れるようにするのが我々の役割と思っている。

南地区・・・平成26年11月17日開催

1	市営住宅が空いているが議会は全て把握しているのか。市が払っている無駄な経費についても把握しているのか。
2	班長をしているが用事の煩雑さにあきれている。市民を苦しめている。行政は町内会に甘えすぎである。電話帳1,000冊近くを捌いたが重さもあって大変。議会で行政に圧力をかけてほしい。
3	ごみシールが廃止され有料化されるとの話があるが、シールの配布枚数を減らせばよいのではないのか。
4	火葬場の問題、秘密会議はひどいのではないのか。市長は市民に背を向けている。議会はそのチェックができていない。
5	火葬場について、比較項目の選択と点数のつけ方がおかしいと思わなかったのか。市民にも公表すべきであった。議会だよりに掲載したのか。議員全員に聞く。
6	火葬場について、2回目の説明から5か月経っている。これまでの質問に返事が来ない。議会からの発信もない。説明会の状況は把握しているのか。
7	火葬場の候補地は8月17日の豪雨の際、崩れた。このような所に造れば大変なことになる。土砂警戒区域になっているのを知っているのか。この上に道路をつけようとしているが議論はしたのか。
8	火葬場については西洞の施設や周辺を改修すればよいのではないのか。ここを風致地区にしたのは間違い。反対の理由は、スカイパークは学校が近い、森林を破壊して道路をつけようとしている、都市計画公園だから。議会は何でも賛成しているがどう考えているのか。
9	そもそもスカイパークが火葬場の候補地として挙げたことが問題。比較6項目から考えると候補地になりえない。

NO	参加者からのご意見
10	反対署名21,081名の意見を反映してほしい。今後、5～6か所の候補地の中から火葬場検討委員会（有識者など含む）を立ち上げ進めるべき。
11	説明会の時、足の悪い高齢者や小さい子をおんぶした女性など、出にくいところを出てきた人がいる。それもこれも議会が十分な議論をしてこなかった結果だ。一人一人このことをどう思うのか。
12	自分は議会を傍聴に行ったことがあるが、傍聴者がほとんど居なかった。市民も無関心ではないか。
13	協働のまちづくりが始まるが、役が来るなら町内会を抜ける動きがある。また、少数の人がいつまでも役を支配するような運営はやめてほしい。
14	地籍調査が進まない中、地元住民も高齢化している。境界調査をまずしたらどうか。
15	人口もドーナツ化現象が起きており、小学校の学区がいびつになっている。
16	火葬場の候補地は、まだ検討段階といわれるのであれば、撤回できるのではないか。他にいいところがある。早く作ってほしい。
17	火葬場の説明会から5か月も経っている。精神的にも限界。市長にも説明に来てもらって説明責任を果たしてほしい。候補地を変更する可能性はあるのか。
18	議員は行政に手玉に取られている。議員に失望している。一般市民のおかしいと思うことを感じないのか。情報公開もされていない。（されていたとするなら、この程度の議論か）
19	市長は6年前（就任する2年前）、「スカイパークは『里山森林公園』として守る。」と言った。市役所から5キロ圏内でなくてもいい。他に候補地がある。早く作ってもらいたい。
山王地区・・・平成26年11月17日開催	
1	子育てに関して高齢者を活用することが必要ではないか。今やれることはやってほしい。市と市民にも垣根がある。
2	反対署名が出ているが、火葬場の現状はどうなっているのか。議会も他人事として捉えているように思われる。
3	現在示されている火葬場候補地は市有地であり、適地であると思う。早く決定してほしい。
4	市議会議員は現在24名いるが、人口が減っている中で減員しないのか。
5	協働のまちづくりの体制を検討している。議会の考えは。市からの財政支援として地域の土木的なことも地域に任せると大変なことが予想される。
6	連合長寿会を脱退する町内がある。カッコいいことを言うが結果が出ていない。町内会や長寿会に加入するように働きかけてほしい。
7	仕事で他の地域から来ている人が地域の活動に参加してくれない。そういった人たちに働きかけてほしい。
8	エボラ出血熱が問題となっているが、高山への観光客が増加してきており心配だ。疑似患者が出た時の対応策は。また、風評被害も心配であるが、旅館等にどのような指導をされているのか。
9	ぎかいだよりの中に、避難場所が冠水していた場所があったとの記載があり、冠水が収まってから避難所を開設したとあるが、冠水が収まらなかったらどうなっていたのか。石浦町でも避難所の前をボンネットまで水しぶきをあげて車が通行していた。
北地区・・・平成26年11月19日開催	
1	北山の防空壕が放置された状態である。行政や議会に依頼してきたが、そのままの状態である。また、キンコツ道路の件についても議会が動いてくれなかった。議会は市民の声を聞いて活動してほしい。
2	福祉灯油が実施されていないのはなぜか。市長に意見を言えないのか。福祉灯油を実現してほしい。
3	協働のまちづくりについて議員はどのように関わってくれるのか。議会ではどのような議論が行われているのか。

NO	参加者からのご意見
4	これまで自分たちがやってきたまちづくりに誇りを持っている。 2億5千万円をかけて来年度から始まる事業であるが、議会で審議されているのか疑問に感じる。議会における議論が必要ではないか。これまでどのような議論が進められてきたのか。既成事実だけが積み上げられて決定することだけではなくしていただきたい。
5	行政側に議会がいいように使われているのではないかと感じる。火葬場問題について議会の存在感を示してほしい。眺望がよいとの理由でスカイパークを選定したとの説明であった。炉の数は4つとの説明であるが、炉がいっぱいのときに他の火葬場に回されることがよいのか。
6	議会が市民の声を聞くことはないのか。
7	火葬場問題に対し議員は足を運んだのか。 スカイパークの北側は危険個所に指定されている。また、取り付け道路も予定されているが、東側で土砂崩れが発生した。こんな危険な場所が候補地になっていることはおかしい。 総務厚生委員会委員以外の議員は、秘密会の議事録、また、守る会からの要望書は読んだのか。議事録を読んだが、これが議論といえるのか。矛盾点がたくさんある。市議会は追認機関なのか。議会は議会として市民のための活動をしていただきたい。
8	冬頭町では下水道センターが建設されている。これまでも色々あったが、地域として受け入れている。迷惑施設の周辺の人は大変な思いをしている。 火葬場はスカイパークで良いと思っている。良いと思っている人は地域の人を考慮して賛成と云いづらいついてあるのではないかと感じる。
9	議会の委員会を傍聴しようと思ったが、議題が決まっていなかった。議題は期間をもって提案されるものではないか。議会の会派は何のためにあるのか。
10	火葬場の場所選定をどうして秘密会で議論したのか。
11	スカイパークは眺望がよく、ポスター等にもよく使われている。有望な展望台だ。スカイパークで撮影していることを宣伝したらどうか。また、スカイパークに看板を設置してはどうか。スカイパークに循環バスを走らせてはどうか。スカイパークの活用を。
三枝地区・・・平成26年11月19日開催	
1	少子高齢化による人口減少で、合併後6,000人程度減少した。今後も晩婚化が進み若い人たちも減少していく。このような人口減少の具体的な抑制策について、どう考えているのか。
2	都会の方々は、高山市は住みたい町であることを感じていないようである。このようなことへの対策はあるか。また、魅力ある街づくりをするには何が必要と考えているか。
3	市は企業誘致を進め雇用助成金を出しているが、進まないのが実態である。高山市に大学がないので誘致をお願いしたい。
4	御嶽が噴火し、夏の豪雨災害も発生した。防災対策をお願いしたい。レッドゾーンについて、他に危険地域もあるが指定されていない場所がある。危険個所として明らかになっている箇所は、対策をするべきではないか。8月にスカイパークでも崩落した場所があった。そういった対策を実施するべきではないか。
5	三枝小学校の児童が減少している一方で、北小学校では増加している。学校の児童数について議会側で調整ができないものか。早急に対策を講じてもらいたい。校区編成において課題になるのは、所属町内会の変更とされるが、町内会は何処に属しても関係ないのではないかと感じる。
6	学区の編成については、子どもの意見は反映されているのか。通学時間が短くなれば、事故の確率も少なくなる。冬頭町が三枝校区になっても何ら支障がないと思う。
7	公共施設の整備については、財源が必要になってくる。今後の将来像を策定するべきであるが、どうなっているのか。
8	協働のまちづくりに関しては、交付金が交付されることとなるが、まちづくり協議会としてはすべての住民に負担をお願いして事業運営を図ることも必要と考えている。しかし、町内会への加入率が低く、住民の公平性が問われることになる。町内会加入について、条例化をする必要があるのではないかと感じる。
9	中部縦貫道は丹生川まで工事が進められているが、大規模な工事となり、災害の発生が懸念されるため、県や国に対応をお願いしたい。山手に住宅が点在している。
10	政務活動費の公開はどの程度進んでいるのか。領収書を含めて対応を伺いたい。

NO	参加者からのご意見
11	市民意見については、どのように政策提言に反映されたのか。HPでの公開方法を検討してもらいたい。
12	協働のまちづくりにおいては、各町内会からの要望書について、情報提案書に記入し優先順位をつけて対応をするように聞いている。今後、国や県への要望については、これまでと同様に市を通じてお願いして行く方法で良いのか。協働のまちづくりの中では、地域内で優先順位を決めて要望をするように言われている。
13	見量町町内会には、アパートの空き部屋が多くある。市営住宅に空き家が多くて、駐車場も町内会も維持できなくなる。連帯保証人にも連ねており、維持管理費も支払っているが、修繕していない。都市整備課に対して入居を進めるように働きかけて欲しい。
14	岐阜県内では、75歳以上の老人一人あたりの医療費が年間90万円かかっており、高山市では一人あたり65万円と聞いている。高齢化になっている中で医療費の財源が必要である時に、観光や行事のみに集中するのではなく、健康な老人を増やすことを考えてもらいたい。少子高齢化が進んで、75歳以上で健康な老人を増加させることが重要である。医師が増加すると病気が減ると勘違いする人もいるが、外国では医師がストライキを実施すると、死亡率が低下するなど逆の現象が起きる。お金がかからない行政づくりを実施してもらいたい。市民の意識改革を実施し、病気になってすぐ医者にかかるのではなく、自分で手当することを検討して欲しい。意識改革は難しいことであるが、自分の体は自分で守ることを考えてもらいたい。病気にならないために市民の意識を変えてもらいたい。
15	現在は医療費が高額である。行政や議会から病院や医師に指導しなくてはならない。その辺りも検討するべきである。医療費の明細が自宅に届くが膨大な金額である。
16	検査ばかりで病名を言わない医師が増加している。検査の連続で費用のみが増加している傾向がある。
17	火葬場の問題について、スカイパークは5年前に公園になったが、北アルプスが一望できる都市公園であり、幼稚園児や観光客で賑わいがある。そんな都市計画決定した都市公園に火葬場をつくることは問題である。スカイパークは不適當ではないかと感じる。議会でも議論して頂きたいと思う。火葬場候補地検討委員会を設置して決定する必要があると思う。
西地区・・・平成26年11月20日開催	
1	国保料・介護保険料が高くなっている。今後も上がるのではないかと思うが議会ではどう考えているのか。
2	飛騨市・下呂市は高山市より国保料が安い。理由は。
3	職員給与についてどう考えているのか。
4	協働のまちづくりは本当に必要なのか。議会では議論したのか。
5	協働のまちづくりについて、名張市ではうまくいっていると聞いたがどうなのか。
6	火葬場についての議論と今後についてはどうなっているのか。
7	友好都市が増えているがどう考えているのか。成果が市民に分かるようにしてほしい。
8	西社協の広報を3月に出す予定だが、協働のまちづくりのことをどう伝えればよいのか。
9	協働のまちづくりの予算は繰越できるのか。
10	西小学校・北小学校を統合して、西小学校にまとめてほしい。
11	今年は災害が多く、また熊も中心街に出るなど、観光への影響が風評被害の中広がっている。払拭するよう対応してほしい。
12	久美愛病院には、小児科も産婦人科もなく総合病院といえるのか。この責任は誰にあるのか。
13	これから議会としては、地域医療確保のためにどのような努力をしていくのか。具体的に答えてほしい。
14	少子高齢化への対応として、医療費を使わないという事も大事だ。
東地区・・・平成26年11月24日開催	

NO	参加者からのご意見
1	上岡本に熊のふんが落ちていた。調べてほしい。
2	火葬場の問題について、各議員の考えを聞かせてほしい。
3	火葬場の説明会の内容がお粗末。また、「アルプス展望公園スカイパークを守る会」の説明会へ参加された議員が少ないが、議員はどのように情報を把握しているのか。
4	スカイパークの下の道が災害にあった。市の条件として防災上の課題がないこととあるが、問題はないのか。送電線もあり危険な状態であった。議会でも議論をしてほしい。また、「アルプス展望公園スカイパークを守る会」の意見も聴いてほしい。
5	火葬場について、市の評価に疑問を感じる。交通量が問題になるが、2日しか調べていない。これで、調査といえるのか。
6	この地域には現在火葬場があり、早く新しい火葬場を建設してほしいという思いがあるが、いつ頃の建設となるのか。
7	協働のまちづくりに関して、これまでは社教や町連、各種団体がそれぞれに活動してきた。それらの団体が連携を強めていくことだと考え取り組んでいるが、課題も多い。福祉の面においても市が行うことと、地域が行うことが明確にされていないので、参考事例等を教えていただきたい。
8	協働のまちづくりが来年からスタートするが、1～2年たつと問題が生じてくると思われる。議員は議会に提案されたときにどのように受け止めたのか。また、現場での意見聴取をされていないと思われる、残念だ。東地区は社教事務所が地域内に無い特殊な地域である。地域内に拠点を借り上げる予定であるが、今後、地区に対する支援金が減額されることとなれば、拠点の借り上げもできなくなるのではないかと心配している。
9	地区の実情を知るために地区の高齢化率を聞いたが、市は把握していなかった。東地区の高齢化率は41%であった。議会としても各地域の高齢化率を把握する必要があるのではないかと。
10	町内や祭りの運営が困難になっている。年をとれば病気になるという市民の意識を改革することが必要だ。自分自身の健康は自分が守るということであり、大切なことは元気な老人が増えることである。是非、議員から広めていただきたい。
花里地区・・・平成26年11月25日開催	
1	高山市における児童虐待やいじめ問題について実際どんな状況でどんな問題があるのか。過去にもいじめはあったが、深刻な問題はなかった。
2	主任児童委員をしている。各地区二人体制で活動しているが、課題も多い中で、最低限の人数である。清見と一之宮地区は一人体制であり、二人体制をお願いしているが、改善されていないので力添えいただきたい。
3	火葬場の建設が課題となっているが、どのような状況となっているのか。
4	ごみは無償となっているが、推奨袋を買うことは有償ではないか。どのような見直しが行われるのか。以前は自分で搬入すると無料であったが、有料となった。分別も細かくなり自己搬入しなくなってきた。自己搬入は無料でもいいのではないかと。ごみの量は増えているのか。
5	ぎかいだよりの委員会報告は、視察報告が中心で委員会における議論の状況がわからない。
6	協働のまちづくりが進められるが、まちづくり条例（自治基本条例）は制定しないのか。
7	災害時の要援護者を把握することが大切であるが、要援護者の把握が個人情報保護の関係で難しいと聞く。どのように対応されるのか。
8	AEDを24時間対応できるところに設置することが必要ではないか。
9	外国人の観光客が増えたが、マナーの悪い外国人も増えた。そのことが悪い影響を与えることもある。マナーについて旅行業者等への指導などの働きかけはできないか。
10	苔川の改修を早期に進めていただきたい。
11	上一・二之町の図書館周辺の整備はどうなっているのか。旧図書館の土蔵はどうするのか。

NO	参加者からのご意見
12	熊が出没して市民が不安に思っている。自然を保護する方向で動物と人間が共生できることが必要でないか。
13	協働のまちづくりが進められているが、議員のバックアップをお願いしたい。
14	今後、水素自動車が普及していくと思われる。行政が主導して水素燃料のスタンドがあれば、普及が進み、色々な面からメリットがあるのではないか。
15	ぎかいだよりの中に協働のまちづくりに関する記載が少ないが、議員はどのような考えを持っているのか。それぞれの地区でどのような関わりを持っているのか。

※皆様からいただいたご意見は、今後、所管する委員会にて調査・研究し、今後の政策に反映していきたいと考えています。